

ポスト日本酒アワードの実施に向けて

全国の清酒の消費量が減少し続ける中、道内ではコロナ禍で一時的に減少した出荷量や清酒消費量に占める道産酒の割合が回復していることなど、令和3～5年度に道主催で実施した日本酒アワードは、道産日本酒の知名度向上や消費拡大に一定程度寄与することができたと考えているところです。

昨年3月に開催した本懇談会において、道の事業としての日本酒アワードの実施は令和5年度までとなることをお知らせした上で、令和6年度以降の実施に向けた意見をお伺いし、多くの皆様から継続実施の意見をいただいたことから、幹事会（ホクレン、北海道酒造組合、北海道）において継続に向けて協議してきました。

については、令和6年度以降の取組方向等について、次のとおり検討を進めることとしたい。

記

[取組方向]

1 取組概要

関係機関・団体の自主的な取組を基本としたポスト日本酒アワード（仮）の開催により、道産酒米を使用した日本酒の需要拡大を推進する。

2 主 催

実行委員会形式とする。

（実行委員会の構成員は、ホクレン、北海道酒造組合、北海道を想定）

3 実施方法

（1）場 所

札幌市内の飲食が可能な屋内会場

（2）時 期

新酒の出揃う時期を考慮する

（3）内容等

具体的な実施内容及び経費等について今後検討

4 今後のスケジュール（想定）

R 6年 4月頃

実行委員会設立

10月頃

開催の告知

R 7年 4月～5月頃

ポスト日本酒アワード開催